

身近な環境市民調査について

この事業は、市民の皆様“身近な環境市民調査員”として、大津市の身近な環境について調査をしていただくことで、身の回りの自然や環境の状況を実感し、自然環境への意識と関心を高めてもらうとともに、市民調査員の皆様からの報告をまとめ発信することにより、より広い大津市民の皆様は大津市の身近な環境を知ってもらい、環境保全活動や環境学習に活用してもらおうというものです。

身近な環境というとはよく知っているように思いがちですが、普段なにげなく見過ごしているものも意外と多いものです。川や池で元気に泳いでいる魚たち、道ばたに咲く小さくかわいい花、鳥のさえずり、虫の声など、今まで気付かなかった大津市のすばらしい環境を発見し、大津の環境の未来に大きな夢を与える人～環境夢先案内人～となってくださることを願っています。

1 市民調査員の対象

大津市在住・在勤・在学の方ならどなたでも。

ただし、小学生以上とし、中学生以下は大人と一緒に調査を行います。

2 活動内容

身近な環境について様々な角度から調査し、報告していただきます。

調査対象の生き物は、環境政策課から指定いたします。

3 調査の方法

「3次メッシュ地図」、「参考資料」などを基にして調査します。

調査した結果を調査報告書に記入し、環境政策課まで報告していただきます。

4 調査結果

集まった調査報告を環境政策課にて集約し、まとめたものを報告書と地図として作成します。

また、結果は「大津のかんきょう宝箱」ホームページ上で公開します。

5 身近な環境市民調査とは

○調査する生き物について、よく知ることからスタートします。

- 調査対象になった生き物についての学習と調査方法説明会を、環境政策課の主催で開催します。

○身近に存在する生き物たちを、一定期間調査し、大津市へ報告します。

- 調査期間、調査方法は大津市からご案内します。また、調査に必要な筆記用具なども配布します。報告は、返信用封筒にて行います。

○調査する場所は、大津市内であれば自由です。ご自身で決めていただけます。

- 家の周りやいつもの散歩道など、無理のない日常生活の範囲内で大丈夫です。

○皆様からいただいた報告をもとに、大津市が冊子や地図（ポスター）を作成し、様々な環境保全活動へ提供することで役立ててもらいます。

- できあがった冊子は、ホームページに掲載することで広く公表していきます。
地図（ポスター）については、ホームページに掲載するとともに大津市の施設や学校等に掲出します。

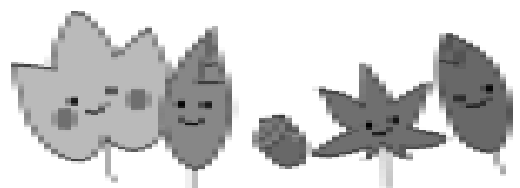
○調査にあたっては、次のことを守ります。

- ①他人のプライバシーを尊重し、迷惑をかけないようにします。
- ②危険な場所に立ち入るなど、無理な調査はしないようにします。
- ③安全第一でケガのないようにします。
- ④中学生以下の子どもたちは、大人と一緒に調査をしましょう。
- ⑤生き物たちをむやみに採ったり、他の場所へ移したりしないようにしましょう。

生き物たちとの出会いを楽しみましょう！！



大津市観光キャラクター
おおつ光ルくん



平成30年度 サギ調査について

サギは、日本各地で見ることのできる身近な鳥として、昔から人々に親しまれています。水田にたたずむ姿や、琵琶湖や河川などでスラリとした美しいサギの姿を、見かけたことのある方もいらっしゃるのではないのでしょうか。

しかし、身近であるのに、サギのことを意外と知らない（実際にどのような種類がいるのか、どのような環境を好んで生息しているのかなど）という方も多いかと思います。

そこで、今回、身近な環境市民調査の調査対象として、サギを取り上げることにしました。この調査は、サギの種類や生息環境、羽数を確かめるのはもちろんのこと、調査を通じて今現在のサギを取り巻く状況について考察し、市民の皆様にも身近な自然環境を見つめていただくこと、新しい発見をしていただくことを目的として実施したものです。

（１）サギ勉強会

日 時 平成30年5月19日（土）10時～12時
場 所 大津市役所 新館大会議室
講 師 植田 潤 先生（日本野鳥の会滋賀 保護研究部長）



サギ勉強会風景
今年も多くの方に
御参加をいただきました！



(2) 講師

植田 潤（うえだ じゅん）先生

1969年京都市生まれ。守山市在住。

中学校の理科の教員として12年学校教育の現場に携わり、その後長浜市湖北町にある湖北野鳥センター/琵琶湖水鳥・湿地センター職員へ転職されました。また、38年前より滋賀の野鳥を観察し、滋賀県をフィールドに鳥類全般について研究されています。現在、日本野鳥の会滋賀保護研究部長として、水鳥調査やその他保護活動に携わっておられます。

(3) 調査期間

平成30年6月1日（金）～平成30年7月31日（火）

(4) 調査対象地域

大津市内全域

(5) 調査対象のサギ

(3) の調査期間中に、大津市内で見ることができる以下の7種類のサギ
ダイサギ、チュウサギ、コサギ、アオサギ、ゴイサギ、アマサギ、ササゴイ

(6) 報告方法

調査結果を調査票に記入して、環境政策課へ提出する。

(7) 報告期限

平成30年8月31日（金）

ちやうさ ほうほう サギ調査の方法

1. 調査員^{ちやうさいん}の皆様^{みなさま}の、ご都合^{つごう}の良い時間^よ・場所^{しかん}でサギ^{ばしょ}を見つ^みけます。
2. 調査票^{ちやうさひよう}に記入^{きにゆう}します。
3. 郵送用封筒^{ゆうそうようふうとう}に「調査票^{ちやうさひよう}」を入^いれ、ポストに出^だします。

これなら僕^{ぼく}にもできそう！
くわ 詳しい^{ないよう}内容は次の^{つぎ}ページ！



大津市観光キャラクター
おおつ光ルくん

ちょうさひょう サギ調査票

いちぎょう おな ばしょ おな しゅるい か い
一行に、同じ場所にある、同じ種類のサギのようすを書き入れます。

おな ばしょ ちが しゅるい ばあい おな しゅるい ばしょ はな
同じ場所でも違う種類のサギがいる場合、または、同じ種類のサギでも場所が離れてい
る場合、別の行に記入します。

①メッシュ番号 → おおつし くば し ち す つか しら
大津市から配られた「3次メッシュ地図」を使って調べます。
(ほか ほうほう しら ばんごう しよう
他の方法で調べた番号は使用できません。)

②緯度経度 → ホームページ、スマートフォン・携帯電話のアプリ、カーナビや
GPS機器などを用いて調べます。わからない場合はあけておいて
ください。

※緯度経度の表示は、60進法（たとえば東経135度51分17秒など10
進法（たとえば135.854・・・と小数を用いて表したもの）がありま
すが、どちらでも構いません。混同しないようにだけ注意してください。

③住所や近くの目印 → メッシュ番号や緯度経度がわからなくても、住所や目印となる
建物があればこちらで調べることができます。必ず記入してください。

④生息環境 → あ あ ばあい
当てはまるものに○をします。どれにも当てはまらない場合は、その
他に○をし、() 内に詳しく書きます。

⑤標高 → ひょうこう なんめーとる か
標高がわかれば何 m か書きます。

⑥サギの種類 → しゅるい しゅるい か くわ ちょうさしりょう かくにん
わかればサギの種類を書きます。詳しくは、調査資料をご確認ください。
い。

⑦サギのおよその数 → かす み かす か
サギを見つけた数を書きます。

メッシュコードについて

※ 今回のサギ調査報告及びいただいた情報をまとめる際に、「基準地域メッシュ（3次メッシュ）」国土地理院国土数値情報の第3次メッシュを使用しました。これは、「標準地域メッシュ・システム（昭48.7.12 行政管理庁告示第143号「統計に用いる標準地域メッシュ及び標準地域メッシュコード」）」に基づくもので、一定の経線、緯線で地域を網の目状に区画する方法です。1次メッシュは、経度差1度、緯度40分で区画された範囲を指し、2次メッシュは1次メッシュを縦横8等分したもので、3次メッシュは2次メッシュを縦横10等分したものです。

3次メッシュ地図の仕組みについては、環境省生物多様性情報システムホームページに掲載されています。

http://www.biodic.go.jp/kiso/col_mesh.html

メッシュコードの作り方

手順1. 該当ページで、調べたい地域を探す



手順2. 2次メッシュコードと、その地区の数字とを組み合わせ、3次メッシュコードをつくる

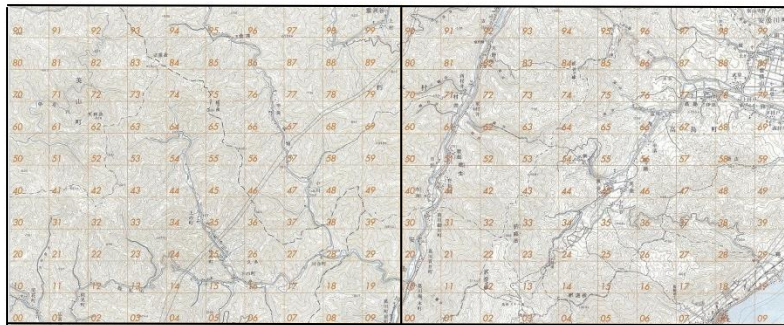
大津市役所の3次メッシュコード

5235-4618

となります

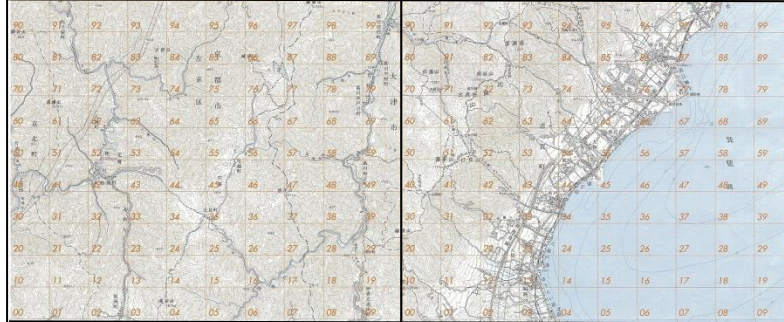
メッシュ分布図（大津市内）

5235-76



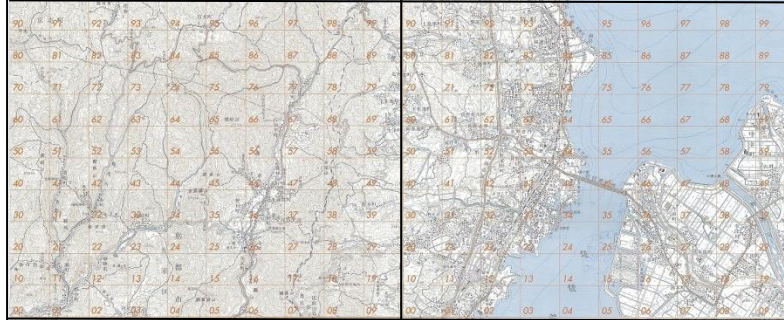
5235-77

5235-66



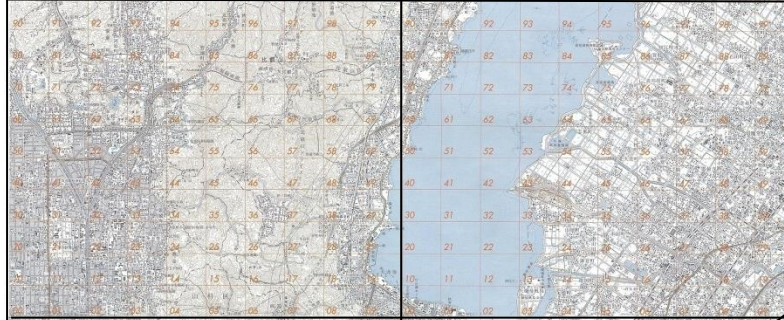
5235-67

5235-56



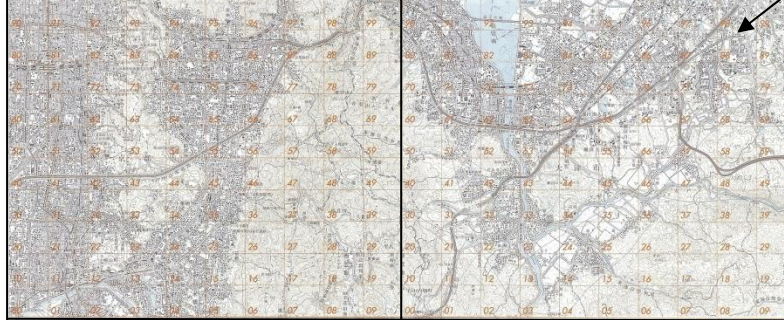
5235-57

5235-46



5235-47

5235-36

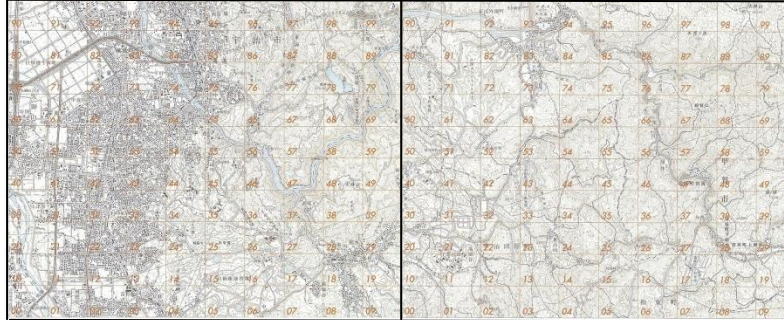


5235-37

5235-30



5235-26



5235-20

5235-27